

Canon

PUB. DIJ-288

DVDライター

DW-100

使用説明書



AVCHD ディスクは、AVCHD 規格対応の機器でのみ再生できます。対応していない機器にディスクを入れないでください。ディスクを取り出せなくなる場合があります。

もくじ


DW-100 を使って DVD に残そう !! 大切な思い出	3
ディスクによってできることが違います	4
お使いいただくまえに知っておいてください	5
そろっていますか?	5
各部のなまえ	6
これだけはお守りください	7
接続する	10
ビデオカメラと接続する	10
DVD を作成する	11
AVCHD ディスクやビデオ DVD を作成する	11
DVD を再生する	13
AVCHD ディスクを再生する	13
ふろく	15
故障かな?	15
取り扱い上のご注意	16
保証書とアフターサービス	17
主な仕様	18
修理のお問い合わせは	19

本文中の表記

(□ 10) 参照ページを示しています。

① メモ 本機について、知っておいていただきたい内容です。

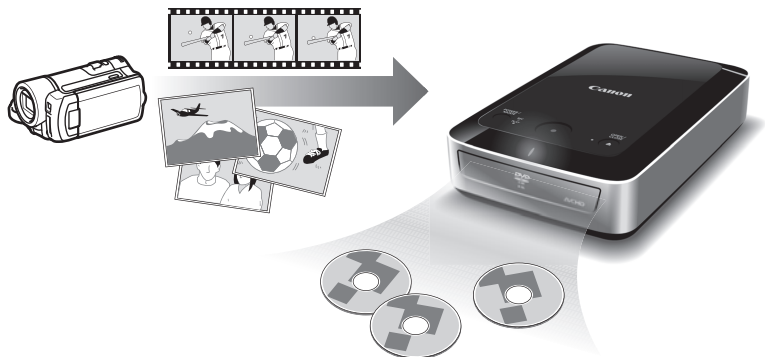
商標について

-  は、DVD フォーマットロゴライセンス株式会社の登録商標です。
- "AVCHD" および "AVCHD" ロゴは松下電器産業株式会社とソニー株式会社の商標です。
- その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

DW-100を使って DVDに残そう!! 大切な思い出

パソコンなどを使わずに本機とビデオカメラ*¹を直接接続して、ビデオカメラで撮影した動画や写真をDVDに記録できます。

*¹ 本機に対応しているビデオカメラについてはキヤノンサポートページをご覧ください。<http://canon.jp/support>
(接続するビデオカメラによって、できることが異なります。)



AVCHDディスク*²が作成できます (□ 11)

ビデオカメラで撮影したAVCHD規格(ハイビジョン画質)の動画をDVDに記録できます。作成したディスクは本機とキヤノンAVCHDビデオカメラと組み合わせて、またはAVCHD規格対応のプレーヤーなどで再生できます。

標準画質のDVD(ビデオDVD*³)が作成できます (□ 11)

ビデオカメラで撮影した標準画質の動画をDVDに記録できます。作成したディスクは他のDVDプレーヤーなどで再生できます。

フォトDVDが作成できます (□ 11)

ビデオカメラで撮影した写真をDVDに記録できます。フォトムービー(静止画を1つの動画ファイルに変換して記録し、動画を再生するときにスライドショーとして再生できます)も同時にディスクに記録します。作成したディスクは他のDVDプレーヤーなどで再生できます。

AVCHDディスクが再生できます (□ 13)

再生するためには、AVCHD規格に対応したキヤノンビデオカメラが必要です。

*² AVCHDディスク

ハイビジョン画質のディスクです。ハイビジョン画質で撮影した映像を、対応するキヤノンビデオカメラと本機を直接接続して作成したディスクです。

*³ ビデオDVD

標準画質のディスクです。標準画質で撮影した映像を、対応するキヤノンビデオカメラと本機を直接接続して作成したディスクです。

ディスクによってできることが違います

記録用 DVD ディスクを選ぶときは、ディスクの種類、バージョン、対応記録速度をディスクパッケージで必ず確認してください。ディスクパッケージは表と裏の両面を確認してください。

ディスクの種類	DVD-R	DVD-R DL	DVD-RW
			
記録 *1	○ *2	○ *2	○
再生 *3	○	○	○
再利用 (上書き)	—	—	○ *4

*1 8 cm ディスクには記録できません。

*2 必ず未使用のディスクをお使いください。

*3 本機で作成した AVCHD ディスク以外は再生できません。

*4 他の機器で消去したディスクはお使いいただけないディスクもあります。

● DVD-R

一度だけディスクに記録できます。

● DVD-R DL

DVD-R の約 1.8 倍の容量があり、長時間記録ができます。

DVD-R DL の片面には二重の記録層があり、1 層目→2 層目の順で記録されます。また標準画質の場合、2 層にまたがって記録された場合は、再生時に層が切り換わるときに映像が 1 秒程度止まることがあります。

● DVD-RW

繰り返し使えます。他の機器で消去したディスクはお使いいただけないディスクもあります。

動作確認済みディスクメーカー (2008 年 3 月現在 *)

DVD-R

- 太陽誘電 (That's)、三菱化学メディア

DVD-R DL

- 三菱化学メディア、日本ビクター

DVD-RW

- 三菱化学メディア、日本ビクター

* 最新の動作確認済みディスクメーカーについては、弊社の Web サイトでご確認いただくか、または弊社のお客様相談センターにお問い合わせください。弊社で動作確認していないメーカーのディスクを使用すると、正常な記録 / 再生やディスクの取り出しができない場合があります。

ディスク作成に必要な時間

本機でディスクを作成するときの時間はビデオカメラで撮影したときの録画モードやシーン数、ディスクの種類によって変わります。下記の表は 60 分の映像を 12 cm (DVD-R 片面 4.7 GB) のディスクに記録するときの目安です。

AVCHD ディスクを作成するとき *

撮影時のモード	所要時間
FXP*	約 40 分
HXP*	約 35 分
XP+*	約 30 分
XP	約 20 分
SP	約 20 分
LP	約 15 分

標準画質の DVD (ビデオ DVD) を作成するとき **

撮影時のモード	所要時間
XP	約 25 分
SP	約 20 分
LP	約 10 分

* FXP、HXP、XP+ モードでは 2 枚のディスクが必要になります。

** DVD-R DL ディスクの場合は、撮影時のモードに関係なく約 55 分かかります。

ディスク 1 枚あたりの記録可能時間

下記の表は、片面 12 cm のディスクに記録可能な時間の目安です。

AVCHD ディスクを作成するとき

撮影時のモード	記録可能時間	
	DVD-R DVD-RW	DVD-R DL
FXP	約 30 分	約 50 分
HXP	約 35 分	約 60 分
XP+	約 45 分	約 80 分
XP	約 60 分	約 105 分
SP	約 80 分	約 140 分
LP	約 100 分	約 180 分

標準画質の DVD(ビデオ DVD)を作成するとき

撮影時のモード	記録可能時間	
	DVD-R DVD-RW	DVD-R DL
XP	約 60 分	約 105 分
SP	約 90 分	約 160 分
LP	約 180 分	約 320 分

お使いいただくまえに知っておいてください

記録内容の補償はできません

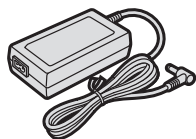
DVD ライター(本機)、ディスクなどの不具合で記録や再生ができない場合でも、記録内容の補償についてはご容赦ください。

著作権に注意しましょう

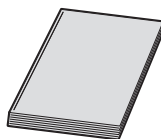
録画・録音したビデオは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

そろっていますか？

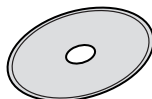
本体以外の付属品がそろっているかチェックしましょう。



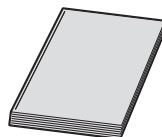
AC アダプターと電源コード



DW-100 使用説明書(本書)



HG10 バージョンアップディスク



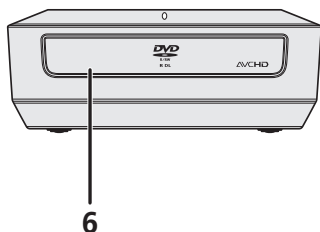
HG10 をお使いのお客さまへ

各部のなまえ

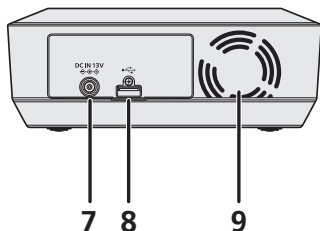
上面



正面



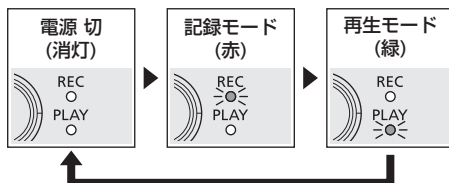
後面



1 POWER/MODEボタン RECランプ PLAYランプ

POWER/MODE ボタンを押すたびにモードが切り換わります。(下図参照)

記録モードのときに REC ランプ (赤) が点灯します。
再生モードのときに PLAY ランプ (緑) が点灯します。



2 スタートランプ

ディスクに記録できるときに点灯します。
ディスクに記録しているときは点滅します。

3 スタートボタン

スタートランプ点灯中にボタンを押すとディスク記録を開始します。

4 アクセスランプ

ディスクにアクセス中に点灯します。

5 OPEN/CLOSEボタン

ディスクトレイを開閉します。

6 ディスクトレイ

7 DC IN 端子

AC アダプター (付属) を接続します。
必ず付属の AC アダプターをお使いください。


8 USB端子

USB ケーブル (ビデオカメラに付属) を使用してビデオカメラと接続します。

9 通気口

これだけはお守りください

本機を正しく安全にお使いいただくため、ここに書いてあることをお守りください。

 **警告** 火災、感電、破裂などにより、死亡や重傷を負うおそれがあるもの

 **注意** 傷害を負うおそれや、物的損害を受けるおそれがあるもの

こんなときは 警告



プラグを
コンセント
から抜く

煙が出ている、へんな臭いがする、⇒電源プラグをコンセントから抜く。
内部に水や異物が入った。

- 火災、感電の原因。修理受付センターに問い合わせるか、購入販売店に修理を依頼する。



プラグを
コンセント
から抜く

本機を落としたり、外装を破損した。⇒電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。

- 火災、感電の原因。修理受付センターに問い合わせるか、購入販売店に修理を依頼する。



接触禁止

雷が鳴り出した。

⇒電源プラグには触れない。

- 感電の原因。

お使いになるときは 警告



禁止

機器内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を入れない。端子部に金属類をショートさせない。

- 火災、感電、けがの原因。



強制

指定の AC アダプターを使う。

- 火災、感電、けがの原因。



禁止

通気口をふさがない。

- 内部に熱がこもって、火災の原因。



禁止

この機器の上に重いものを置いたり、乗ったりしない。

- けがの原因や、変形して火災や感電の原因。



指をはさまれないよう注意

ディスクトレイを閉めるときに、指をはさまれないようにする。

- けがの原因。



ぬらさない。

- 火災、感電、やけどの原因。湿度の高い場所などでの使用は、とくに注意する。



電源コードを傷つけない。加工しない。無理に曲げたり、引っ張ったり、重いものを載せたりしない。熱器具に近付けたり、加熱したりしない。必ずプラグを持って抜く。

- 芯線が露出したり、断線すると火災、感電の原因。



分解禁止

分解や改造をしない。

- 発熱、火災、感電、けがの原因。



強制

電源プラグは根元まで確実に差し込む。

- 火災、感電の原因。



禁止

海外旅行者用の電子式変圧器や航空機、船舶、DC/ACコンバーターなどの電源につながらない。表示された電源電圧や周波数以外では使用しない。

- 火災、感電、けがの原因。



ぬれ手
禁止

ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししない。

- 感電の原因。



強制

移動させるときは電源を切り、必ず接続コードをはずす。

- 接続したまま持ち運ぶとコードが傷つき、火災、感電の原因。



禁止

ディスクトレイの前に物を置かない。

- ディスクトレイが開く際に、物が倒れて破損やけがの原因。



禁止

レーザー光線をのぞきこまない。

- レーザー光が目にあたると視力障害を起こすことがある。



強制

コード類は、つまづかないように配置する。

- 足を引っ掛けて、転倒したり製品が落ちたりして、けがの原因。

使用・保管するとき ⚠ 警告



風呂場、シャワー
室での使用禁止

風呂場などの湿度の高い所や油煙、ほこり、砂などの多い場所で使用、保管しない。

• 内部に水などが入ると、火災、感電、やけどの原因。



強制

電源プラグやコンセントのほこりを、定期的に乾いた布で拭き取る。

• 火災の原因。



禁止

直射日光下やストーブ、照明器具のそばなど、60℃以上の高温の場所や炎天下の密閉された車の中に置かない。

• 発熱や破裂により、火災、やけど、けがの原因。



禁止

不安定な場所に置かない。

• 落ちたり、倒れたりして、けがの原因。



禁止

ひび割れ、変形や補修したディスク、特殊形状のディスクは使わない。

• けがの原因。



強制

旅行などで長期間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。

• 火災の原因。



禁止

ふとんやクッションなどの上に置いたり、かけたまま使用しない。

• 内部に熱がこもり、火災の原因。



強制

5年に一度は内部の点検を修理受付センター、購入販売店に相談する。

• 湿気の多くなる梅雨の前が効果的です。

お子様がそばにいるとき ⚠ 警告



強制

乳幼児の手の届かないところに置く。

• 感電、けがの原因。

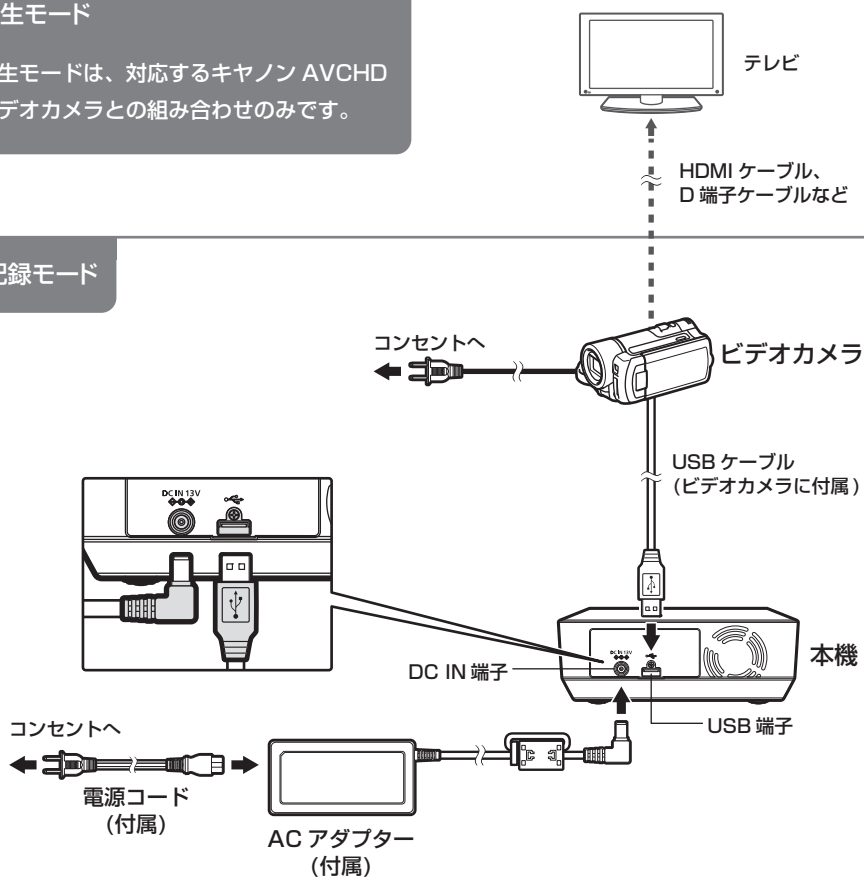
接続する

ビデオカメラと接続する

再生モード

再生モードは、対応するキャノン AVCHD ビデオカメラとの組み合わせのみです。

記録モード



①メモ

- DVD を作成するときは、ビデオカメラにコンパクトパワーアダプターをつないでください。
- 再生モードのときはビデオカメラとテレビを HDMI ケーブル、D 端子ケーブルなどで接続してください。詳しくはビデオカメラの使用説明書をご覧ください。
- 本機は水平に設置してください。

DVD を作成する

AVCHD ディスクやビデオ DVD を作成する

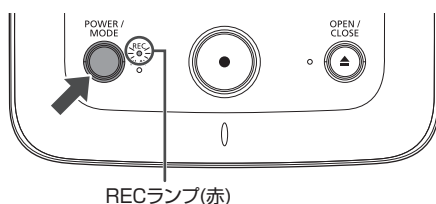
DVD を作成する動画などについては、お使いのビデオカメラの使用説明書をご覧ください。
※初めてお使いになる前に、保護シートをはがしてください。

1 ビデオカメラの電源を入れ、再生モードにして、DVD を作成するための設定をする

詳しくはビデオカメラの使用説明書をご覧ください。

2 POWER/MODE ボタンを押す

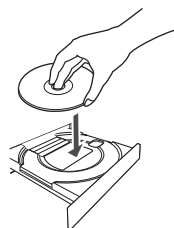
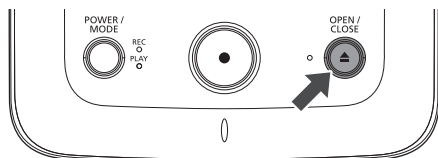
記録モードに切り換えます。REC ランプ(赤) が点灯します。(6)



3 本機とビデオカメラを USB ケーブルで接続する (10)

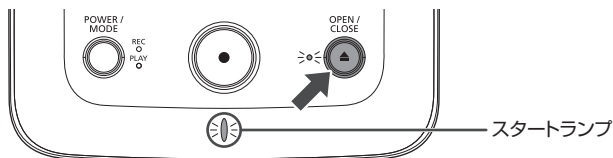
4 OPEN/CLOSE ボタンを押す

ディスクトレイが開きます。片面ディスクはラベル面を上にしてディスクをディスクトレイに置きます。
記録用ディスクは本機で利用できるディスクをお使いください。(4)



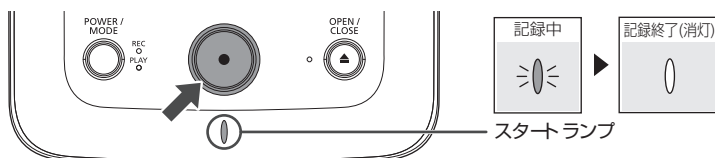
5 OPEN/CLOSE ボタンを押す

ディスクトレイが閉まります。
記録準備が整うとスタートランプが点灯します。



6 スタートボタンを押す

ディスクに記録を開始します。
記録が終わるとスタートランプが消灯します。
ディスクはファイナライズされメニュー画面が作成されます。



ご注意: スタートランプが点灯しているときは、映像をディスクに書き込んでいます。このときは、次のことをかならず守ってください。映像やデータが破損するおそれがあります。

- 本機に振動や衝撃を与えない
- AC アダプターや USB ケーブルを抜かない

7 OPEN/CLOSE ボタンを押す

ディスクトレイからディスクを取り出します。

①メモ

- 静止画を記録するときは、必ずフォトムービーも作成されます。1 枚のディスクに静止画だけを記録することはできません。
- 記録するファイルのサイズによっては、ディスク容量に空きスペースがあってもファイナライズします。
- DVD の作成は中止できません。
- DVD 作成中はディスクトレイは開きません。

書き込んだ DVD-RW ディスクを再利用する

本機で書き込んだ DVD-RW ディスクの映像を消去して、再利用 (上書き) できます。
書き込み済みの DVD-RW ディスクを本機に入れると、接続したビデオカメラに上書きするかどうか確認画面が表示されます。ビデオカメラの画面の指示に従って上書きを選ぶと、ディスクに書き込まれていた映像が消去され、新しい映像が上書きされます。

DVD を再生する

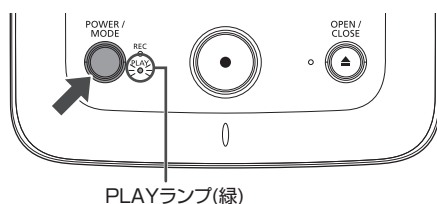
AVCHDディスクを再生する

1 ビデオカメラの電源を入れ、再生モードにして、DVD を再生するための設定をする

詳しくはビデオカメラの使用説明書をご覧ください。

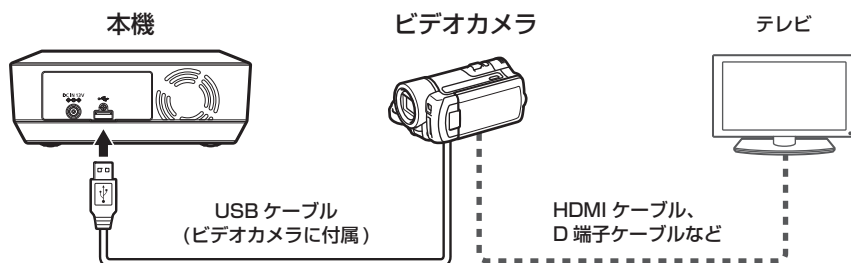
2 POWER/MODE ボタンを押す

再生モードに切り換えます。PLAY ランプ (緑) が点灯します。(6)



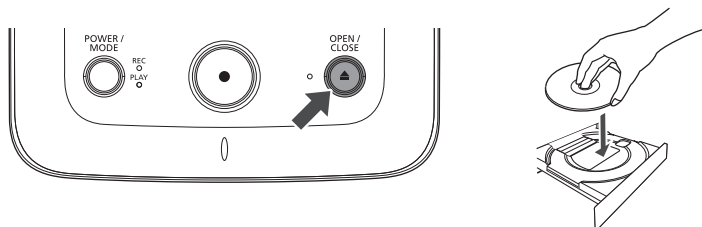
3 本機とビデオカメラを USB ケーブルで接続する (10)

ビデオカメラとテレビも接続してください。詳しくはビデオカメラの使用説明書をご覧ください。



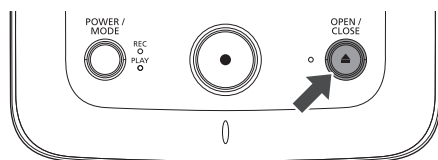
4 OPEN/CLOSE ボタンを押す

ディスクトレイが開きます。片面ディスクはラベル面を上にしてディスクをディスクトレイに置きます。再生用ディスクは本機で利用できるディスクをお使いください。(4)



5 OPEN/CLOSE ボタンを押す

ディスクトレイが閉まります。



6 ビデオカメラを操作して再生する

詳しくはビデオカメラの使用説明書をご覧ください。

7 ビデオカメラを操作して再生を終了する

8 OPEN/CLOSE ボタンを押す

ディスクトレイが開きます。ディスクを取り出してください。
本機の電源を切っても再生を終了します。

iメモ

再生モードは、対応するキャノン AVCHD ビデオカメラとの組み合わせのみです。
対応するキャノン AVCHD ビデオカメラとの組み合わせ以外では再生モードに切り換えられません。

本機で再生できるディスクは以下のとおりです。

- 本機で作成した AVCHD ディスク

ふろく

故障かな？

こんなときは	どうするの？
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none">AC アダプターが正しく接続されているか確認してください。
電源が切れない	<ul style="list-style-type: none">記録中は電源が切れません。
ビデオカメラに認識されない	<ul style="list-style-type: none">USB ケーブルが正しく接続されているか確認してください。ビデオカメラが正しく設定されているか確認してください。詳しくはビデオカメラの使用説明書をご覧ください。
ディスクが読み込めない	<ul style="list-style-type: none">ディスクがディスクトレイに正しく入っているか確認してください。ディスクにゴミや汚れ、傷がないか確認してください。ゴミや汚れが付いているときは市販の眼鏡クリーナー（布製）などで拭き取ってください。特殊な形状のディスクは使用しないでください。パソコンで再初期化したディスクは、本機では使えません。本機で使用するにはディスク消去してください。ディスク消去しても使えないディスクもあります。
本機で記録したディスクが再生できない	<ul style="list-style-type: none">本機で作成した AVCHD ディスク以外は再生できません。記録中に本機の電源コードが抜けてしまったときは、記録途中だったディスクは再生できません。ディスクにゴミや汚れ、傷がないか確認してください。ゴミや汚れが付いているときは市販の眼鏡クリーナー（布製）などで拭き取ってください。
本機で記録したディスクに途中までしか映像が記録されていない	<ul style="list-style-type: none">記録中に本機とビデオカメラを接続している USB ケーブルが抜けてしまったときは、USB ケーブルが抜けた時点までの映像がディスクに記録されます。
本機や AC アダプターが温かい	<ul style="list-style-type: none">異常に熱いときは AC アダプターを取りはずし、修理受付センターまたはご購入になった販売店にご相談ください。
再生モードに切り替えられない	<ul style="list-style-type: none">対応するキヤノン AVCHD ビデオカメラとの組み合わせ以外では再生モードに切り換えられません。
記録中にディスクトレイが開いた	<ul style="list-style-type: none">1 枚目のディスクに入りきれない映像を次のディスクに記録します。新しいディスクと交換してください。
ディスクトレイが開かない	<ul style="list-style-type: none">記録中はディスクトレイが開きません。

本機で記録したディスクが他機で再生できない

- 本機のディスク記録規格 (18) が再生できる機器が確認してください。

- ディスクにゴミや汚れ、傷がないか確認してください。ゴミや汚れが付いているときは市販の眼鏡クリーナー (布製) などで拭き取ってください。

他機で記録したディスクが本機で再生できない

- 本機で作成した AVCHD ディスク以外は再生できません。

- 他機で初期化や記録、編集したディスクは本機で再生できない場合があります。

- ディスクにゴミや汚れ、傷がないか確認してください。ゴミや汚れが付いているときは市販の眼鏡クリーナー (布製) などで拭き取ってください。

ランプが点滅したままになっている

- 本機からディスクを取り出してください。
- 本機の電源を切ってください。

取り扱い上のご注意

DVD ライターについて

- スタートランプが点灯している間は、振動や衝撃を与えない

正常に記録されず、ディスクのデータが破損することがあります。

- テレビの上、プラズマテレビや携帯電話の近くなど、電磁波の出る場所では使わない
映像や音声が乱れることがあります。

- ホコリや砂、水、泥、塩分の多い場所で使用・保管しない

• 本機は防水・防塵構造になっていません。ホコリなどが本機やディスクトレイ内部に入ると、故障の原因となります。

• ディスクトレイは使用後に必ず閉じてください。

ディスクについて

- 表面にラベルなどの粘着性のあるものを貼らない

回転が不安定になり、故障の原因となります。

- ホコリや汚れが付かないようにする

わずかな汚れでも、正常に記録や再生ができないことがあります。記録を行う前には必ず十分な確認を行ってください。汚れた場合は、市販の眼鏡クリーナー (布製) などで拭きとってください。ベンジンなどは、ディスクを痛めることがあるので、使わないでください。

- 保護のため、ケースに入れて保管する

- 文字などは印刷面に、ボールペンなどの先の硬いものは避け油性フェルトペンで記入する

- 極端な温度差にさらさない

温度差のある場所へ急に移動すると、表面に結露することがあります。結露したときは、そのまま使用せず、水滴が自然に消えるまで常温で放置してください。

- 直射日光の当たる場所や、高温、多湿の場所に置かない

保証書とアフターサービス

本機の保証は日本国内を対象としています。万一、海外で故障した場合の現地でのアフターサービスはご容赦ください。

保証書

本体には保証書が添付されています。必要事項が記入されていることをお確かめのうえ、大切に保管してください。

アフターサービス

製品の保証について

- 使用説明書、本体注意ラベルなどの注意書きに従った正常な使用状態で、保証期間中に本製品が万一故障した場合は、保証書を製品に添付のうえ弊社修理受付窓口、またはお買い上げ店までご持参あるいはお送りいただければ、無料で修理いたします。この場合の交通費、送料および諸掛かりはおお客様のご負担となります。また、お買い上げ店と弊社間の運賃諸掛りにつきましても、一部ご負担いただく場合があります。
- 保証期間内でも保証の対象にならない場合もあります。詳しくは保証書に記載されている保証内容をご覧ください。
- 保証期間はお買い上げ日より 1 年間です。
- 保証期間経過後の修理は原則として有料となります。
- 本製品の故障または本製品の使用によって生じた直接、間接の損害および付随的損害（録画再生に要した諸費用および録画再生による得べかりし利益の喪失、記録されたデータが正常に保存・読み出しができないことによって発生した損害等）については、弊社ではその責任を負いかねますのでご了承ください。

修理を依頼されるときは

- 見本となる記録メディアを添付するなど故障内容を明確にご指示ください。

補修用性能部品について

- DVD ライターの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）の保有期間は、製造打ち切り後 8 年です。従って、期間中は原則として修理をお受けいたします。なお、故障の原因や内容によっては、期間中でも修理が困難な場合と、期間後でも修理が可能な場合がありますので、その判断につきましては弊社またはお買い上げ店にお問い合わせください。

修理料金について

- 故障した製品を正常に修復するための技術料と修理に使用する部品代との合計金額からなります。
- 窓口で現品を拝見させていただいてから概算をお知らせいたします。なお、お電話での修理見積依頼につきましては、おおよその仮見積になりますので、その旨ご承知おきください。


主な仕様

本機 (DW-100)

ディスク記録*	AVCHD ディスク (ハイビジョン画質) AVCHD 規格: 12 cm DVD-R、DVD-R DL、DVD-RW ビデオ DVD (標準画質) DVD-Video 規格: 12 cm DVD-R、DVD-R DL、DVD-RW 静止画 JPEG+ フォトムービー: 12 cm DVD-R、DVD-R DL、DVD-RW
ディスク再生*	AVCHD 規格: 12 cm DVD-R、DVD-R DL、DVD-RW
電源電圧	DC IN 13 V
消費電力	使用時: 23 W (アダプター使用時)
動作温度	+5 °C ~ +35 °C
外形寸法 (幅×高さ×奥行き)	約 179 × 70 × 275 mm
質量	約 1.9 kg

AC アダプター (PA-V16)

電源電圧	100 V ~ 240 V、50/60 Hz
定格出力	DC 13 V/1.8 A
外形寸法 (幅×高さ×奥行き)	約 58 × 25 × 118 mm
質量	約 228 g

*  のついたディスクを使用してください。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

本書に従って正しい取り扱いをしてください。